

# 夢 限 大

いきおい  
うるおい  
まどまり



令和4年10月18日（火） vol.12

## 令和4年 合唱コンクール（2年生）

	1組	2組	3組	4組	5組
曲目	～優秀賞～ 旅立ちの時	～最優秀賞～ 僕らの奇跡	あすという日が	自分らしく	大切なもの
指揮者	◎				
伴奏者		◎			
実行委員					
応援幕	優良賞	優良賞	優良賞	優秀賞	優良賞

### 【合唱コンクール結果発表】

まずは、昨年の講評を見てみましょう。



〈課題：改善するともっと良くなる点〉

- ①音楽の授業で聴いていた合唱に比べると、（本番の合唱は）物足りなさを感じた。
- ②リハーサルで伝えていた“勇気をもって”歌う姿勢が、もっともって見えた。
- ③勇気をもつためには、取り組みが大事。練習を積み重ねて、自信をもてたら勇気が出てくる。練習が十分ではなく不安が残るようであれば、緊張が増す。
- ④合唱で大切にしてほしい（授業で伝えていた）部分は、『1、盛り上がるところで力強く 2、プレス。』
- ⑤特にプレスについては、「聴いている人にとって大事」なこと。どこでプレスをするかによって、詩が上手く伝わるかどうかが決まる。

〈強み：クラスや学年全体の良かったところ〉

- ①放課後の練習には、みんなでよく取り組んでいた。すばらしい！
- ②とにかく雰囲気が良かった。合唱コンクールに向けての取り組み方や歌っている時などのクラスの雰囲気が良くみんないい表情だった。
- ③よい雰囲気の中では、必ず音楽も良くなる。

個人的な感想を言うと、昨年度の合唱コンクールよりも今年の方がすばらしく、みんなと一緒に素敵な時間を過ごせたことを嬉しく思いました。また、昨年よりも良いものであったということは、君たち（学年全体や個人）の成長の証といえるでしょう。これも嬉しかったことです。（ここだけの話ですが、私たち連島中学校の先生や君たちの保護者は、こうした変化を心から待ち望んでいます。そして、それを君たちの中に見つけた時が一番嬉しいのです。）

それでは、今年の講評（平松先生）からいくつかを抜粋（ばっすい）しておきます。

- ・短い期間ではあったが、放課後の練習を頑張っていた → とても伸びた
- ・しっかりとパート別の練習ができていて音程はとれていたが、（ソプラノ・アルトの）バランスが良くなかったので、ハーモニーができていなかった（これができたらすごい合唱になるよ！）
- ・言葉を伝えるためにも、プレスを意識しよう（プレス＝まどまり、言葉が伝わる＝合唱の良さ）

これらの課題を乗り越えて、来年までに最高の学年へと成長していこう！

最後になりましたが、

**実行委員・指揮者・伴奏者・すべての歌い手のみなさん**

**ありがとうございました！！**

### 【保護者のみなさまへ】

学校公開および合唱コンクールでは、多くの方の参観をいただきまして、ありがとうございました。この学年集団をより良くしていくためにも、今後ともご理解・ご協力をよろしくお願い致します。